

【英語の学習法】

1. 授業への取り組み方

- ①学習用具を机の上に準備し、着席して前の授業の復習（音読など）をしながら先生を待つ。
- ②予習・宿題は必ずやり、ワークは指示がなくても進める。
- ③音読や発音練習では、発音・イントネーションを意識して大きな声で練習する。
- ④ペアワーク、グループワークでは、協力して教え合い、学び合いをする。

2. ノートの取り方

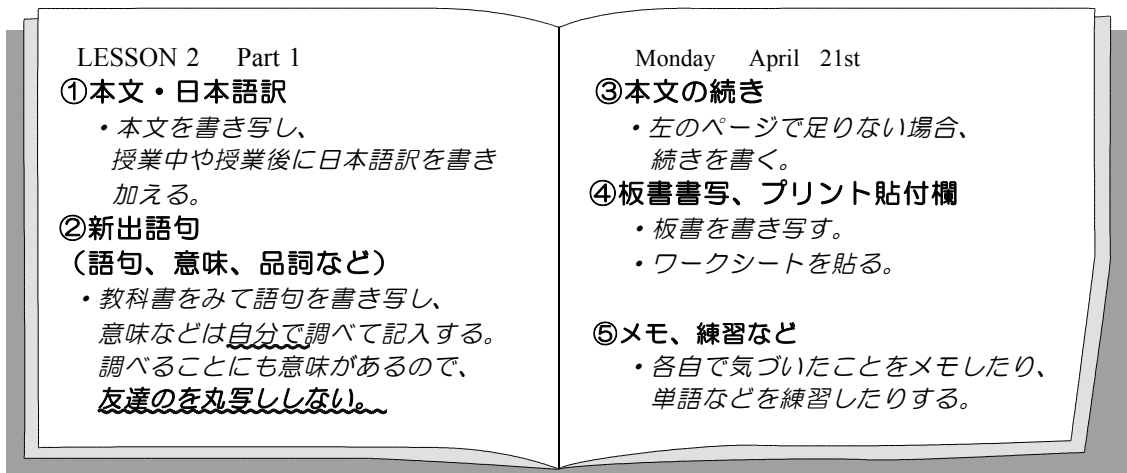
★家庭学習やテスト勉強に使えるように、見やすくていねいに書く。

（休んだ友達に貸してもわかるように）

文字の大きさや色ペン・定規の使い方を工夫する。

- ①今年度は全学年「英語パーフェクトノート」を使用します。
- ②欠席したときは、友達のノートを借りて書き写してください。

< 使い方の例 >



3. 学習サイクル

- ①予習
(パーフェクトノートに)
 - ・新出単語の意味・品詞・発音を辞典で調べて書く。
 - ・教科書の本文を書き写す。
- ②授業
 - ・先生の説明・指示をよく聞く。
 - ・間違いを恐れず、積極的に発表・活動する。
 - ・他の人が間違っても絶対にはかにしない。
- ③復習と宿題
 - ・本文の音読を毎日（1日2分程度）する。
 - ・宿題プリントは出された日にやり、次の日に提出する（授業がなくても）・・・1, 2年
 - ・本文の日本語訳を書く。
 - ・ワークを自主的に進める。

英語の「かきくけこ」
か・・・書く
き・・・聞く
く・・・繰り返す
け・・・継続する
こ・・・声を出す

4. テスト勉強の仕方

- ①範囲内の本文を何度も何度も音読する（同時に頭の中で日本語訳を考えると、さらによい）。
- ②ワークや授業でやったプリントを復習する。間違ったところをやり直す。
- ③単語や英文はを声に出して読みながら、書く練習をし、覚えたか確かめる。

5. スペリングコンテストについて

- ①授業で学習した単語などを100問出題する。
- ②満点を目指して、朝自習などの時間に練習する。
- ③「関心・意欲」の観点の評価材料の一つにする。

6. その他

- ①英語検定（6月、10月、1月）に挑戦する（1年は5級、2年は4級、3年は3級が基本ラインです）。
- ②英語弁論（9月）に挑戦する（学校から2名以内）。
- ③英語の歌を聞いたり、映画を見たり、ALTの先生に話しかけたりして英語に触れる機会を作る。